

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和3年7月6日（火）
- 2 確認箇所
瓦礫類一時保管エリアP（P1及びP2）
- 3 確認項目
瓦礫類一時保管エリアP排水枡における全ベータ値の一時的上昇への対応状況について

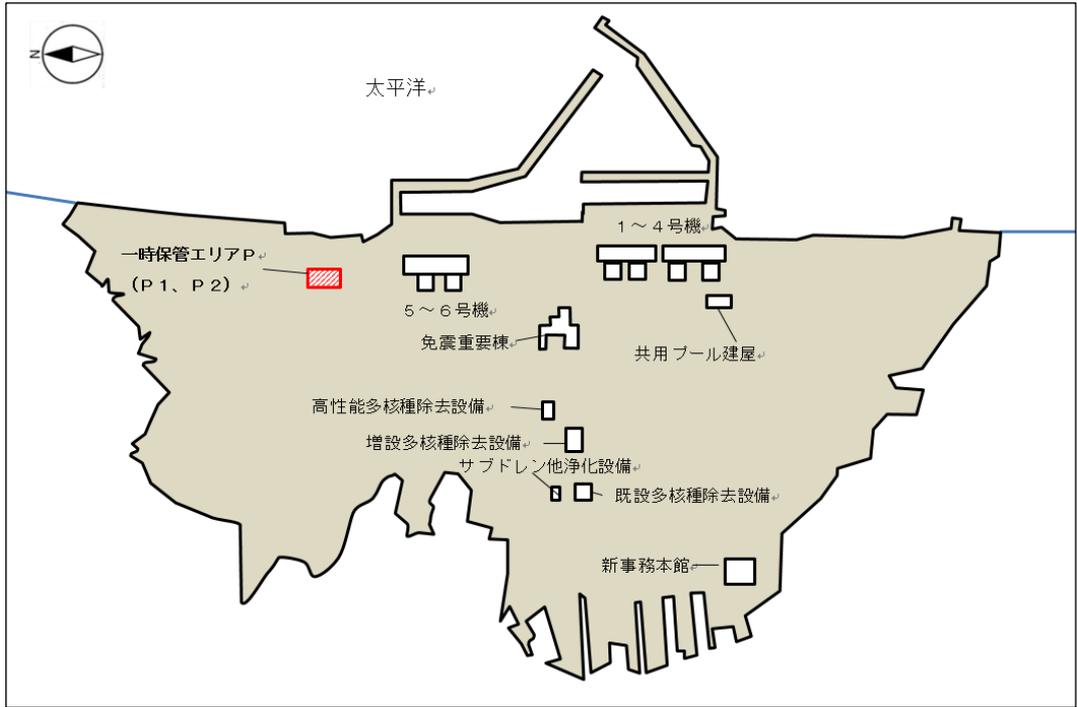
4 確認結果の概要

東京電力が毎月行っている瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）P排水枡の溜まり水の放射能分析において、6月29日に採水した検体の全ベータ値が前回（5月21日）に採水したものと比較して一時的に上昇[※]していることの報告が7月5日にあったことから、現場の状況を確認した。

なお、東京電力によれば、上昇の原因は不明であるが周辺一時保管エリアに保管しているコンテナの外観目視点検では水の漏えいがないことなどを確認しているとしている。

- ・排水枡及び周辺側溝は清掃され、放射性物質の吸着材が設置されていた。（写真1）
- ・東京電力社員が原因調査のため、一時保管エリアP排水枡に流入する可能性のある周辺一時保管エリア等のサーベイを行っており、一部の地表面に有意なベータ汚染を確認した。（写真2）

※ 5月21日採取分 全ベータ：5.9 Bq/L、セシウム137：検出下限値未満
6月29日採取分 全ベータ：750 Bq/L、セシウム137：21 Bq/L
7月5日採取分 全ベータ：9.8 Bq/L、セシウム137：5.8 Bq/L



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
排水枡の状況①
(矢印は水の流れ)



(写真1-2)
排水枡の状況②
(吸着材の両端に土嚢設置)



(写真 2 - 1)
東京電力社員の測定状況



(写真 2 - 2)
県の測定状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。